



い~わくんの協働のまちづくりコーナー

【市民活動に関する問合せ先】市民活動支援センター（市民プラザ内 ☎・FAX 37-0257）

【掲載に関する問合せ先】協働推進課市民協働グループ（☎ 38-5803）

子育てママさんのおしゃべり会 （市民活動助成金対象事業）

- 問合せ先 「こどもと未来をつなぐ虹の会」山口（☎ 080-5120-9402、Eメール kodomo.rainbow@gmail.com）
古民家でゆったり・ほっこり、子育てについておしゃべりしませんか。ぜひ親子でご参加ください。
- とき 9月15日(土)午前10時～11時30分（受付午前9時45分～）
- ところ いいかふえ（東町東市場屋敷128）
- 内容 ①先輩ママとおしゃべり会「楽しみながら、悩みながら子育てをされていていいんだよ」、②市民活動団体「おこまま」による楽器演奏とパーサート
- 対象 乳児から未就学児までの親子（パパ・ママだけの参加も可能です。）
- 参加費 無料
- 定員 10組
- 申込 上記問合せ先までお申し込みください。

民族音楽 レクチャー&ライブ 「3つのジプシーの世界」

- 問合せ先 「コミュニティカフェかがよひ」岸（☎ 090-3562-0479）
- とき 9月29日(土)開場午後6時、開演午後7時
- ところ コミュニティカフェかがよひ（昭和町1-23 おさや糸店ビル2階）
- 演奏 フィドラーぐみジプシー楽団
- 内容 ルーマニア&ハンガリー、トルコ、ロシアのジプシー音楽とダンス
- 参加費 2,000円 ※別途ドリンクオーダーをお願いします。
- 申込 不要

～来て！見て！知って！～ 『市民プラザまつり2018』へ行こう

- 問合せ先 「市民活動支援センター」（☎ 37-0257、Eメール city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp）
市民プラザでは、市民による活動を身近に感じていただけるよう、楽しみをぎゅ～っと凝縮したイベントを開催します。抽選会もありますのでお気軽にお越しください。
- とき 9月23日(日・祝)午前10時～午後3時
- ところ 市民プラザ
- 内容 ①「ステージイベント」音楽ライブ、フラダンスショー、鳴子踊り等②「ブース出展」フリーマーケット、アート作品展示、身近な地域活動の紹介等③「子どもの遊びコーナー」大型紙芝居、いっしょに歌おうおどろう、い~わくんと遊ぼう等④「お楽しみ抽選会」出演・出展団体からのプレゼント抽選。下部の抽選引換券を切り取り、多目的ホール入り口で抽選券と引き換えてください。
※駐車場に限りがありますので、徒歩・自転車等でお越しください。

おんしんプロジェクト！推進会議 （市民活動助成金対象事業）

- 問合せ先 「NPO法人ローカル・ワイド・ウェブ いわくら」山口（☎ 080-5120-9402、Eメール lww.iwakura@gmail.com）
岩倉を音楽のあふれるまちにするためのプロジェクトです。音楽に関心のある人はお集まりください！
当日はミニライブの開催もありますよ！
- とき 9月17日(月・祝)午後1時30分～4時
- ところ 市民プラザ多目的ホール
- 内容 ①音楽イベントの企画推進、音楽があふれるまちにするための環境についての検討等②市民活動団体「HappineSS」によるミニライブ開催
- 参加費 無料
- 定員 40人
- 申込 上記問合せ先までお申し込みください。



市民プラザまつり2018
抽選引換券
当日会場での抽選券と引き換え
(引き換え：正午～午後2時)
コピー不可

～ボランティア入門講座～『これからはじめるボランティア・市民活動』 【第3回】福祉施設のボランティア

- 問合せ先 「市民活動支援センター」 (☎ 37-0257、Eメール city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp)
ボランティア・市民活動に参加するきっかけ作りのための連続講座です。第3回は、岩倉一期一会荘の協力のもと、福祉施設のボランティアについて学びます。
 - とき 9月30日(日)午後1時30分～4時
 - ところ 岩倉一期一会荘 花むすび
 - 定員 先着 20人
 - 内容 ①仕事内容や設備、そこで活動するボランティアの実情とやりがいなどについての講話(講師 かわむら 河村 ひろとも 裕友さん(岩倉一期一会デイサービスセンター生活相談員)) ②施設見学③職員およびボランティアとの座談会
 - 参加費 無料
 - 申込 上記問合せ先までお申し込みください。
- ※全8回の連続講座ですが、関心のある講座にのみ参加することも出来ます。
※平成30年度に5回以上参加した人には修了証をお渡しします。



岩倉市国際交流員
トブウドルジ・エンフナラン
(エイミー)

Amy in Iwakura

importance of
multiculturalism
多文化の大切さ

皆さんは、モンゴルでは冬になったら平均気温がマイナス35度ぐらいになるのをご存知ですか。モンゴルは“世界一寒さが危険な国”と言われたこともあります。しかし、日本の冬はそこまで寒くないのでびっくりしました。モンゴルではみんな冬になると5枚もの服を重ねて着ますが、私は日本ではセーターだけで十分です。しかし、夏の日本は別の話になりますね。初めての日本の夏は本当に温泉につかっているかのような暑さでした。モンゴルの夏は日本と比べるとあまり暑くないのでこんな体験をしたことは初めてでした。

さて、岩倉の学生たちに英語で“What is the most popular food in Japan?”と聞くとみんな“Sushi”と答えてくれます。モンゴルには海がないので、シーフードやお寿司はめったに食べられません。レストランやスーパーマーケットではシーフードが食べられますが、家族料理ではないです。モンゴルの人たちはシーフードよりお肉が大好きです。日本の料理は大体ライスと一緒に食べられますが、モンゴルではライスより小麦粉や麺、野菜などがよく一緒に食べられています。

また、モンゴルの伝統的な“ゲル(移動式住居)”という家に今も住んでいる人が多いです。モンゴルの田舎は自然が本当に美しいので、夏になったら首都であるウランバートルから田舎に旅行する人も多いです。モンゴルの田舎は都会と違って高いビルやファンシーなレストランやゲームセンターなどはありません。しかし、日本の田舎には色んな娯楽があってすごく発展していると思います。グローバル化されている世界の中でも、モンゴルの文化や歴史を守っているのは田舎の生活習慣や環境だと思っています。

このように、モンゴルと日本の違いは多いですが一つ共通することがあります。それはどちらの国も私のHOMEだと思うことです。モンゴルには自分の大切にしている人たちがいてそこで生活するのは大好きだけど、日本も環境が綺麗で人も優しく仲良くなりやすいし、食べ物も美味しすぎるのでここも私のHOMEになっているのは嬉しいです。皆さんにとっても色んなところに旅行して異文化の大切さを理解するのは最高の経験になると思います。そうすると世界についての知識が増えるだけでなく自分についての知識も増えて自分を見つけるためにすごく役に立つと思います。モンゴルについてもっと知りたいことがあればぜひ声を掛けてください！ バヤールラー／ありがとうございました。

「Amy in Iwakura (英訳版)」はホームページから閲覧できます。